Japanese Utility Model Application Laid-Open (JP-U) No. 54-23722

Publication Date: February 16, 1979

Applicant: Matsushita Electric Industrial Co. Ltd.

TITLE: ELECTRICAL ACOUSTIC CONVERSION DEVICE

ABSTRACT:

An electrical acoustic conversion device in which a vibrating diaphragm having a plurality of printed voice coil formed thereon is provided so as to extend on a magnetic field generated by magnets, wherein the plurality of printed voice coils are separately provided on the vibrating diaphragm; and one of signals having different frequency bands is applied to each printed voice coil.

DEST AVAILABLE COPY



実用新案登録願(3)

昭和 52 年 7 月

特許庁長官殿

称 ョウ〜ンカンキ 電気音響変換器

2 考 案 者

大阪府門真市天学門真1006審地 住 劢 松下電器產業株式会社內 カツ ムラ

Æ 名 村

実用新案登録出願人

(E 大阪府門真市大字門真1006番地 10 (582) 松下電器產業株式会社 Ш -\-<u>-</u> 焂

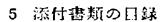
代表者

4 代 理 **7** 571 人 住 大阪府門真市大字門真1006番地 זענ

松下電器產業株式会社內

氏 名 (5971) 弁理士 中 尾 敏 男 (ほか 1名)

〔連絡先 電話(東京)437-1121 特許分室〕



(1) 101 äΗ 315 (2) X шi

(3) 交 1E 状

(4) 願書副本 通

通

通

通

- 1、考案の名称電気音響変換器
- 2、実用新案登録請求の範囲

ブリントボイスコイルを有する振動膜を、磁石によって生じる磁界内に張架する電気音響変換器において、一枚の振動膜に複数個のブリントボイスコイルを独立して形成し、上記各プリントボイスコイルに帯域の異なる信号を印加することを特徴とする電気音響変換器。

3、考案の詳細な説明

について第1図とともに説明する。

第1図において、1,2は棒状の磁石であり、 この磁石1,2は平行に配置されている。3は振動 襲であり、この振動 膜 3 はポリプロピレン,ポリイミド等のプラスチックフィルムとアルミニウム箔とをラミネートし、エッチングによりアルミ



2

ニウム箔により渦巻き状のプリントボイスコイル 4を形成したものであり、この振動膜3が上記磁石1,2の上面部に張架されるものである。上記プリントボイスコイル4に電流1を流すと、振動膜3は上下に振動し、音を放射するものである。

上記従来の電気音響変換器においては、低域から高域まで振動膜3の全質量が加わることになるため、特に高域における駆動力が低下し、高域再生が困難となる欠点があった。

本考案は上記従来の欠点を除去するものであり、 以下に本考案の基本原理について第2図,第3図 とともに説明する。

第2図,第3図において、5~9は棒状の磁石であり、この磁石5~9は一定間隔隔でで平行に配置されている。1 Oは振動膜であり、この振動膜1 Oには2個のプリントボイスコイル11,1 2 が設けられている。一方のプリントボイスコイル11は低域用であり、他方のプリントボイスコイル12は高域用であり、両ボイスコイル11,1 2 は同一のインピーダンスとなるよう、プリントボ



イスコイル11,12の幅およびターン数を同一としているが、低域用プリントボイスコイル11 の線間を大きくし、低域用ボイスコイル11 のる面積を大きくし、低域用ボイスコグル11 ののに対しているのでのは第3回に対しているのである。第3回に対しているのである。第3回に対しているのである。第3回に対しているのである。第3回に対しているのである。第3回に対しているのである。第3回に対しているのである。第3回に対しているのである。第3回に対しているのである。

以上のように、本考案によれば、低域用、高域用プリントボイスコイルを個々に形成し、低域信号を低域用ボイスコイル11に、高域信号を高域用ボイスコイル12に印加し、振動膜10を個々に振動させるようにしているため、特に高域用ス

4

ピーカ用の振動膜質量を実質的に小さくすること ができ、高域再生が可能となるものである。

第4図は従来例および本考案の電気音響変換器の周波数特性を示しており、本考案の電気音響変換器 A によれば従来例 B に比較してより高域まで再生できる利点を有するものである。

第 5 図 , 第 6 図は本考案の一実施例を示しており、第 5 図 , 第 6 図において、1 7 , 1 7 ' は多数の音波放射孔が形成されたヨーク板であり、このヨーク板1 7 , 1 7 ' にはそれぞれ複数個の磁石1 8 , 1 8 ' が平行に固定されている。1 9 , 19 ' は外ョークであり、この外ョーク1 9,19 ' 間に高域用、低域用プリントボイスコイルが形成された振動膜 2 0 が挟持されているものである。

なお上記実施例では低域,高域の2帯域に分割 した例を示したが、低域,中域,高域の3分割に しても全く同様である。

本考案の電気音響変換器は上記のような構成であり、本考案によれば、特に高域再生が可能となる利点を有するものである。



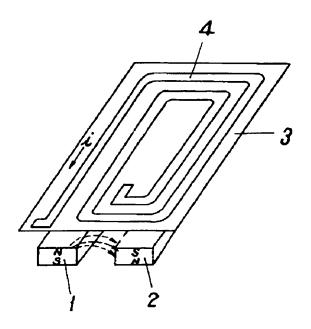
4、図面の簡単な説明

第1図は従来の電気音響変換器の基本構成を示す斜視図、第2図は本考案の電気音響変換器の基本構成を示す図、第3図は同電気音響変換器の等価回路図、第4図は従来例および本考案の電気音響変換器の周波数特性図、第5図は本考案の一実施例の断面図、第6図は第5図のa-a/断面図である。

5~9……磁石、1 O……振動膜、1 1 , 1 2 ……プリントボイスコイル、1 7 , 1 7′……ヨ ーク板、1 8 , 1 8′……磁石、1 9 , 1 9′… …外ョーク、2 O……振動膜。

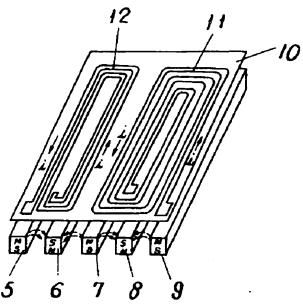
代理人の氏名 弁理士 中 尾 敏 男 ほか1名

第 1 図



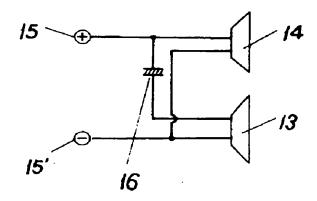
007887

代理人の氏名 弁理士 中 尾 敏 男 ほか1名 第 2 図



2.2

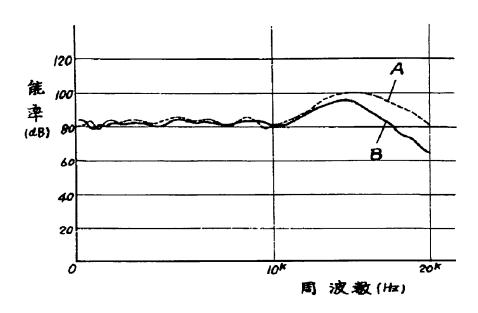
第 3 図



代理人の氏名 弁理士 中 尾 敏 男 ほか1名

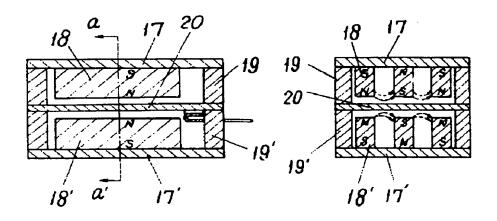
1

第 4 図



第 5 図

第 6 図



代理人の氏名 弁理士 中 尾 敏 男 ほか1名

3/

6 前記以外の代理人

住 所 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内 (6152) 弁理士 粟 野 重 孝誓

戉 名

This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:
BLACK BORDERS
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
FADED TEXT OR DRAWING
BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
SKEWED/SLANTED IMAGES
☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
GRAY SCALE DOCUMENTS
LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
□ other:

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.